

海南高校美里分校



平成29年度

マンスリータイムズ

3月号

平成29年度 卒業式



3月1日(木)に平成29年度卒業証書授与式を挙行し、男子9名、女子4名、計13名が美里分校を巣立ちました。

卒業生の晴れやかな前途を祝うため、太鼓部の1, 2年生が『祝い』『朝焼け』を演奏した後、卒業式が開会しました。



卒業式では、卒業証書が授与されたのち、皆勤賞(3名)と精勤賞(3名)も授与されました。その後、式辞の途中で近隣の電線の関係で停電が起きるハプニングがありました。河本校長からは、「卒業生の皆さんは、美里分校で学んだ三年間での様々な機会を通じて、これからの社会で生きていくために必要な『力量』と『心構え』を成長させることができた」と確信しています。これまで順風満帆で過ごしてきたのではなく、つまずき転んで立ち上がり歩き始めたこともあったと思います。でも、最後まであきらめずに自分を信じて、支えてくれる人を信じてがんばってきたからこそ、今日のこの日を迎えられるのだと思います。今回の突然の停電のように、人生には思いもよらないことが起こるものです。そのときに、どのように落ち着いて行動するかが大切です。覚悟をして挑戦すること、失敗したらそれをしっかり受け止めることは自分が成長するために必要なことだと思います。悩んでも、あきらめず困難を乗り越えることができた君たち。この学校で成長した自分を信じてこれからの人生を歩んでいってください。」と、はなむけの言葉が卒業生におくられました。



卒業生代表の西澤和久君の答辞では、「美里分校では様々な行事を通して皆さんと楽しく過ごすことができました。中でも沖縄修学旅行は、クラスのみんなとのつながりが深まり、一番の思い出として心に残っています。また、和太鼓部では、県大会で優勝が決まった時、うれしくて泣いてしまいそうになりました。私は、クラブ活動を通して礼儀の大切さや力を合わせることの素晴らしさなどたくさんのことを学びました。三年間の高校生活で、先生方に教えていただいたことをこれからの人生に生かし、四月からは多くの方々への感謝の気持ちを持ち、尊敬される大人になりたいと思います。」とクラスメイトとともに歩んだ三年間をいろいろな思い出をもとに語りかけてくれました。西澤君の言葉を聞いて、涙ぐむ卒業生の姿も見られました。卒業式後、在校生が制作した美里分校での思い出をスライドで上映し、高校生活を振り返りました。前日には暴風が吹き荒れ、式の途中で停電が起こるなどハプニングがありましたが、それも特別な思い出となる感動的な卒業式だったと思います。



卒業生の皆さん、ご卒業本当におめでとうございます。

4月の主な行事予定

- 4月 4日(水) 離任式
- 9日(月) 始業式・新任式
- 10日(火) 入学式・対面式
- 11日(水) 授業開始
- 12日(木) 身体測定・心電図・尿検査
- 19日(木) 眼科検診

薬の正しい知識と使い方の講座(1年生)

3月15日(木) 1年生を対象として、学校薬剤師の西本先生から「薬の正しい知識と使い方」の講話をしていただきました。

薬は、使い方を誤れば体に大きな害を及ぼします。今回、「薬のリスク」について、資料を使って詳しく教えていただきました。また、薬物乱用防止についても同時にご指導いただきました。それぞれ大事な内容であり、生徒は真剣に聞いていました。